

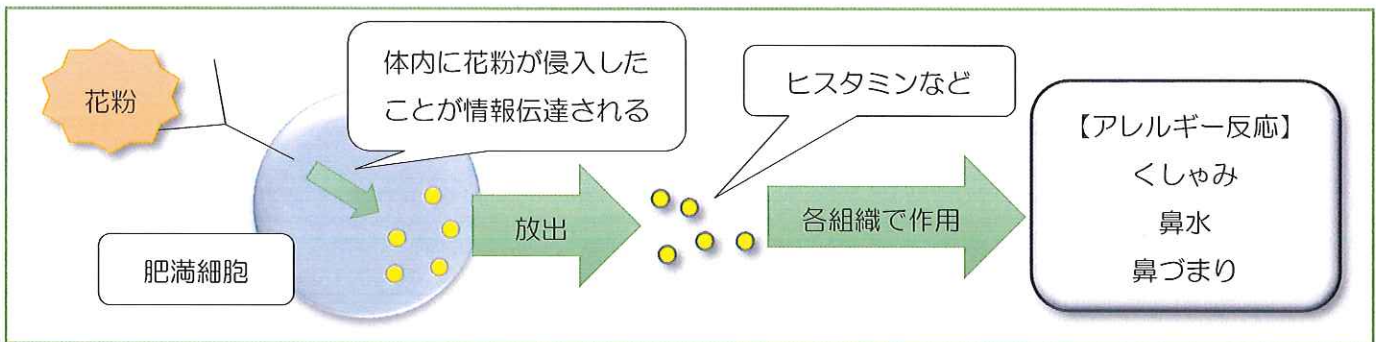
おくすり通信

No.1 花粉症について

こんにちは、薬剤科です。今後は薬剤科から少しずつですが薬に関する情報を発信していきたいと思っています。今回は春になり花粉症に悩まされている方もいると思いますので、花粉症についてまとめてみました。

＜花粉症のメカニズム＞

花粉症はアレルギーの一種で、その中でも即時型アレルギーに分類されます。即時型アレルギーでは①アレルゲン（花粉）が侵入、②アレルゲンが免疫細胞（肥満細胞など）上に結合、③免疫細胞からケミカルメディエーター（ヒスタミンなど）が放出され、それらが各組織で様々な作用を引き起こすことでアレルギー反応があらわれます。アレルギー治療薬は主に③以降の作用を妨げることでアレルギー反応を抑えます。



＜治療薬と注意点＞

アレルギーに使用される医療用医薬品と同成分を使った一般用医薬品も多く販売されています。一般用のほとんどは医療用とは異なり効能効果に蕁麻疹などはありませんが、花粉症に対しては医療用と変わらずに使用できます。

アレルギーの薬の中には眠気を催すものもあり、運転をされる方は気になる点だと思います。下の表の中に運転中の薬の使用についてまとめましたので、参考にしてみてください。

また、妊婦・授乳婦の方への薬の使用についても参考までに推奨されているものをまとめましたが、自己判断で薬を使用することは避け、医師・薬剤師に相談したうえで使用するようにしてください。

市販のアレルギー薬（内服）	成分	医療用医薬品	運転	妊婦	授乳婦
クラリチンEX	ロラタジン	クラリチン	○	推奨	推奨
アレグラFX	フェキソフェナジン	アレグラ	○		推奨
アレギサール鼻炎	ペミロラスト	アレギサール	○	×	×
アレジオン20	エピナスチン	アレジオン	△		
エバステルAL	エバスチン	エバステル	△		
コンタック鼻炎Z	セチリジン	ジルテック	×	推奨	推奨
ザジテンAL 鼻炎カプセル	ケトフェチン	ザジテン	×		
ストナリニ・ガード	メキタジン	ゼスラン	×		

※推奨：今日の治療薬 2018 より引用

そのほか、気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。